

設置趣旨

- 自然災害に係る防災対策に関する調査研究については、理学、工学、社会科学等の各分野において、各省庁、独立行政法人、大学、民間等の様々な主体により実施。
- 一方で、各調査研究の連携・調整が不十分であり、防災対策のニーズと調査研究のマッチングがなされておらず、社会実装に至っていない調査研究の成果が少ないといった課題として挙げられている。

これらの課題を解決するために、防災対策に関する調査研究を効率的、効果的、戦略的に推進していく必要がある。

防災関連調査研究における現状の課題と今後の対応の在り方

以下の視点から、防災対策に関する調査・研究を戦略的に推進するにあたっての対応の方向性を整理する。

- (1) 社会実装を意識した総合的な視点からの研究の推進
- (2) 研究成果を社会実装するための取組

これまでの開催概要

【第1回～第5回】

- 防災対策に関する調査・研究を戦略的に推進するにあたっての課題を各委員から提起

(各委員からの課題提起)

第2回（平成27年9月）

平田副主査（地震調査研究推進本部の成果と学術の役割）
福和委員（被害軽減に資する防災・減災研究～地域の防災・減災力向上の立場から～）
和田委員（学問の分化とこれからの防災研究連携）

第3回（平成28年2月）

木本委員（防災関連調査研究の現状・課題・推進方策について）
小池委員（防災・減災、持続可能な開発、気候変動適応をつなぐ科学・技術）
越村委員（リアルタイム津波浸水・被害予測技術の現状と意義）

第4回（平成28年6月）

石川委員（研究成果を減災の成果に結びつけるには）
田村委員（防災関連調査研究の整理枠組み～社会課題からのBackCastingの必要性～）
森田委員（火山調査・研究の現状と社会実装につなげるための課題）

第5回（平成28年11月）

河田主査（私と防災研究戦略～やったこと、そして期待すること～）

【第6回（今回）】

- 第1回～第5回までの各委員からの課題提起及び議論を踏まえ、防災関連の調査研究を社会実装へとつなげるにあたっての課題認識と目指すべき方向性を整理し、とりまとめる

研究者・学会と行政をはじめとした実社会が連携し、防災関連の調査・研究の社会実装化を推進